

.....

# うきたむ考古通信

.....

2018年2月号

■ 発行者	うきたむ考古の会
事務局	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 内
	〒992-0302 山形県東置賜郡高島町安久津2117
	電話0238-52-2585 Fax 0238-52-4665

## 館事業報告

### ♥大人の自由研究

12月16日(土)に大人の自由研究の2回目が開催されました。7月に青苧から取り出した繊維に撚りを掛けて糸を紡ぎ、その糸でコースターを作る計画でしたが、糸を紡ぐ作業は多くの時間を要することから、繊維のままでの織に挑戦しました。アンギン台の他、西沼田遺跡ガイダンス施設で使われているオリジナルの織機を使用しての織物づくりを行いました。



11名の参加があり、西沼田遺跡公園の渡辺淑恵さんの指導で、写真のような作品を作っていただきました。次年度以降は青苧の栽培から始めようという計画がありますので、会員の皆様も是非参加していただきたいと思います。



## 🎧 第ⅩⅡ期うきたむ学講座

今年度から補助金なしで参加者の持ち寄りという従来の事業形態に戻った第1回目の講座が1月14日（日）に開催され、28名の方の参加がありました。

前半の講座は「置賜で活躍した仏師たちー白鷹町の調査事例からー」と題して、白鷹町地域おこし協力隊の石井紀子先生からお話をいただきました。

白鷹町山口にある「安楽院」に伝わる仏像や欄間などの彫刻は安政元年(1854)の火災から難を逃れたものも含め、幕末から明治時代につくられた。それらの製作にあたった仏師や彫工を調べ上げ、彼らの活動をひもといていただきました。幕末から明治にかけては、山形市十日町の仏師の新海宗慶・義蔵、長井市勸進代で彫刻や絵画を制作し仏師も名乗った長谷部吉之助、米沢市立町の横山権六、京都の山本茂祐の作品があり、明治時代には越後の有磯習齋や菅原鹿蔵、京都の乾清太郎、辻井岩次郎の名が見えるという。彼らの多様な活動があったが、中でも地元とも言える長井市勸進代の長谷部吉之助は注目される人物であるということでした。これからも、調査を継続するということですので、新たな成果に期待したいと思います。

後半は「置賜の仏像と醍醐寺の関係ー高島町・大聖寺を中心にー」と題して、有限会社東北古典彫刻修復研究所の石井智也先生からお話をいただきました。

置賜地方にある仏像のうち大聖寺の木造不動明王立像(13世紀前半)、千眼寺の木造阿弥陀如来立像(13世紀後半)、昌伝庵の木造伝大日如来坐像(延文5年(1360)円慶・宗祐作)の3体は作風に快慶風を示す作例や快慶の様式を意識して造立されたと考えられるということです。そして、その制作背景には醍醐寺の存在が考えられるが、それはなぜかということについてのお話でした。

置賜地方に醍醐寺と関係がある仏像が確認できるのは、当時の寒河江から置賜を支配していた大江氏は快慶並びに、醍醐寺と関係の深い関係があり、大江氏の支配下にあった置賜地方にも醍醐寺の影響を受けた仏像があるのではないかとということでした。特に昌伝庵に所蔵される伝大日如来が弥勒菩薩として造立されていたとすれば、慈恩寺の三宝院に伝わる弥勒に次いで2つ目の作例であり、大変貴重であるとともに、大江氏と醍醐寺との関係をさらに補強できるものになるとのことでした。

第1回目の講座は共に東北芸術工科大学で学ばれた新進気鋭の研究者の方で、今後も県内にある仏像についての新たな研究成果を発信してくださるものと期待いたします。

なお、第2回講座は平成30年2月17日（土）13：30～15：30に、山形考古学会会長の佐藤庄一先生の「地域の歴史をつくるー『清水町の歴史とくらし』の刊行からー」、そして第3回講座は平成30年3月14日（日）13：30～16：10に、鳥海隼夫先生から「米沢産物集と動物たち（題名変更になりました）」、米沢市立図書館の石黒志保先生から「近世後期の米沢の文学」と題した講話をいただくことになっておりますので、多くの会員の皆様のご来館をお待ちしています。

※なお、前回通信の第3回講座の日程に誤りがありました。訂正しお詫びさせていただきます。

## 📍 2017年度山形の考古資料検討会

2月4日(日)に2017年度山形の考古資料検討会が開催されました。

【基調報告】として「2017年県内の発掘調査の概要」について山形県教育庁文化財・生涯学習課の稲村圭一氏から報告があった後、以下の5遺跡についての報告がありました。

「日向洞窟遺跡」(高島町)	東北芸術工科大学	長井謙治	氏
「八幡西遺跡」(川西町)	山形県埋蔵文化財センター	菊池玄輝	氏
「花沢 a 遺跡」(米沢市)	米沢市教育委員会	佐藤智幸	氏
「大南遺跡」(米沢市)	米沢市教育委員会	佐藤公保	氏
「裏山 I 遺跡」(飯豊町)	飯豊町教育委員会	高橋 拓	氏

日向洞窟遺跡では精密な調査で遺跡形成に寄与する成果と草創期の編年研究に層位的な成果が付け加えられたこと、昨年に引き続いた八幡西遺跡では古代の集落と近世の堀で区画された屋敷跡が調査され、特に、近世の屋敷跡が注目されるとのこと。

花沢 a 遺跡は縄文時代中期末葉の集落が調査され、複式炉を伴う大形を含む多くの竪穴や土坑が検出され、この時期では米沢市内で最も多くの遺構が検出され、遺物も興味を引くものが多いということで来年度に整理と報告書の作成が行われるとのことでした。

大南遺跡は昨年度からの継続調査で2ヶ年合計 27,600 m<sup>2</sup>の大規模な調査が行われました。縄文・古墳・奈良・平安・中世・近世の遺構と遺物が検出され、特に奈良・平安・中世に大きな成果が得られました。奈良・平安時代は官衙に関わる施設があり、中世には仏教関係の方形館と考えられる遺構が検出されました。

飯豊町教育委員会が主体となり、自ら調査したものとしては初めての発掘となる裏山 I 遺跡は、大きく削平された痕跡があり、残りはあまりよくなかったということですが、縄文時代中期末から後期初頭の土坑が検出されたとのことでした。

県教委や米沢市教委のお話ですと、今のところ、平成30年度には置賜地域での発掘調査の計画はないとのことですが、管内市町教委が主体となるものが少しはあるとのことでした。

## ♥ 平成30年度の事業計画が承認されました

2月6日に運営協議会が開催され、下記のような事業計画が承認されました。

### 展示事業

#### 1. 常設展示

基本的に現在の形を継続する。古代以降については、企画展示を実施しない時期に、企画展示室を使用して常設展示に続く通史的な展示を行う。

※赤ちゃん手形を実施するゴールデンウィークに特別公開「押出遺跡の彩漆土器」を開催する。国保有となっている重要文化財の彩漆土器10個体と4～6次調査で出土した彩漆土器2個体を一挙に公開する初めての企画である。

#### 2. 企画展示

(1) 特別テーマ展「押出遺跡の6次調査と山形県内の縄文前期後半の世界」

6月9日(土)～9月9日(日)

押出遺跡の6次調査の成果と山形県内の縄文時代前期後半の鶴岡市川内袋遺跡、遊佐町吹浦遺跡、寒河江市高瀬山遺跡、米沢市柿の木遺跡、塔ノ原遺跡、大壇B遺跡、八幡原A遺跡の土器や石器から、当該期の文化動態を示す。少しマニアックな展示となる予定。

(2) 第26回企画展「古代から近世の植物利用」 9月15日(土)～12月2日(日)

山形県から出土した古代から近世の木製品に関する様々な角度からの資料展示を行い、古代から近世の多様な植物利用の実態を知っていただく。木簡等の文字資料も取り上げる。  
〈展示構成〉未定

関連企画を実施して理解・関心の向上に努めるとともに、展示図録を刊行する。

- ① ギャラリートーク 9月15日(土)・11月3日(土・祝)
- ② 考古学セミナー 9月30日(日)・10月14日(日)・11月4日(日)
- ③ 記念講演会 11月18日(日) 講師・演題未定(今後交渉予定)

## 普及啓発事業

### 1. 体験事業

ものづくりを通して考古学に関心を持ち、知識向上や達成感にもつながる体験事業を行う。

(1) 「赤ちゃん手形をつくろう」

4月28日(土)～30日(月・祝) および5月3日(木・祝)～6日(日)

目標 1,000個

※昨年に続き、今年も会員の皆様から、準備と当日のお手伝いのボランティアを募集しますのでよろしくお願いいたします。

(2) 「勾玉・弓矢・石器をつくろう」

5月19日(土)・7月14日(土)・11月3日(土・祝) 目標 のべ250名

(3) 「ガラス玉をつくろう」

6月16日(土)・12月1日(土) 目標 25組

(4) 「からむしで布をつくろう」(あんぎんをつくろう)

6月16日(土)・12月1日(土) 目標 10名

(5) 「古代風ブレスレットをつくろう」

6月23日(土)・11月3日(土・祝) 目標 70名

(7) 「スクールオブジョウモン」

8月10日(金) 目標 10名(今年度7名)

(8) 「大人の自由研究」

7月21日(土)・12月15日(土) 目標 25名

### 2. 遺跡・資料館をめぐる

県内外の遺跡や資料館をめぐることで、遺跡や考古資料への関心・理解を深める。

- (1) 春の遺跡めぐり 5月20日(日) 仙台市を予定
- (2) みる・きく・ふれる遺跡の旅 6月30日(土)～1日(日) 茨城県南部を予定
- (3) 秋の遺跡めぐり 10月28日(日) 仙台市を予定

## 研修事業

### 1. 考古学への関心の裾野を広げ・深める事業

#### (1) 特別テーマ展関連講座(特別テーマ展関連)

特別テーマ展に関連した講座を開催する。縄文時代前期後半の遺跡と遺物の紹介と、それらについての背景を探る。

〈第1回〉 7月8日(日)

〈第2回〉 7月15日(日)

〈第3回〉 7月22日(日)

講師・演題未定(今後交渉予定だが展示遺跡の調査者とこれらの遺跡や遺物の考察を深めている県内研究者に依頼予定)

#### (2) 第20期考古学セミナー(企画展関連)

企画展のテーマに沿った講座を開講し、企画展の展示資料について理解を深める。

全体テーマ『古代から近世の時代の植物利用』(仮)

〈第1回〉 9月30日(日)

〈第2回〉 10月14日(日)

〈第3回〉 11月4日(日)

講師・演題未定(今後交渉予定)

## 各種団体との連携事業

1. 「うきたむ考古の会」との共催事業として遺跡の旅を実施。他事業においても連携を取る。
2. 「うきたむ学講座実行委員会」共催事業としてうきたむ学講座を実施する。
  - ① うきたむ学講座 全3回
  - ② 特別講座(高島町)
3. 「山形考古学会」共催事業として山形の考古資料検討会を実施する。
4. 考古学関連の講演会やシンポジウムの共催等に随時対応する。

## 印刷物の発行

1. 館報 6月発行(第51号)・11月発行(第52号)
2. 年報 3月発行
3. 企画展図録 9月発行(ポスター・チラシは8月発行)
4. 催し物案内 3月発行
5. 各事業案内チラシ等 随時

# 東北情報館

## コレクション展 『米沢ゆかりの絵師たち 4』

入館料 一般／200円 高大生／100円 小中生／50円  
2月3日～3月18日 米沢市上杉博物館 TEL: 0238-26-8001

## 企画展 『和菓子の木型』

入館料 無料  
2月10日～3月11日 文翔館 TEL: 0238-26-8001

## テーマ展2 『鉄五輪塔地輪と花泉の中世』

入館料 一般／300円 高大生／200円 中学生以下／無料  
1月20日～3月21日 一関市博物館 TEL: 0191-29-3180

## 企画展 『道具の歴史Ⅳ—遺跡から出土した金属製の道具—』

入館料 無料  
1月17日～3月19日 いわき市考古資料館 TEL: 0246-43-0391

## 第35回埋蔵文化財調査資料展 『盛岡を発掘する—平成29年度調査速報—』

入館料 一般／200円 小・中学生／100円  
2月3日～5月20日 盛岡市遺跡の学び館 TEL: 019-635-6600

## 『笑いの絵画』

入館料 一般／700円 高大生／380円 小中生／280円  
1月19日～2月20日 致道博物館 TEL: 0235-22-1199